

国語

7

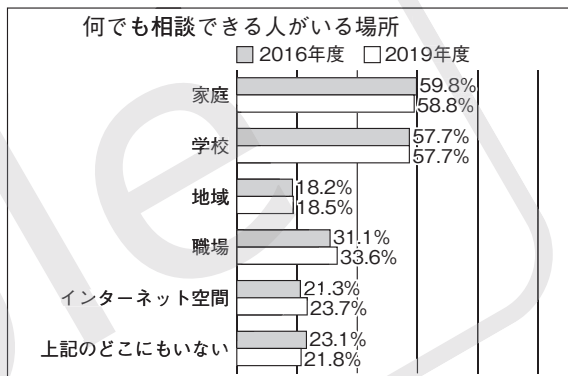
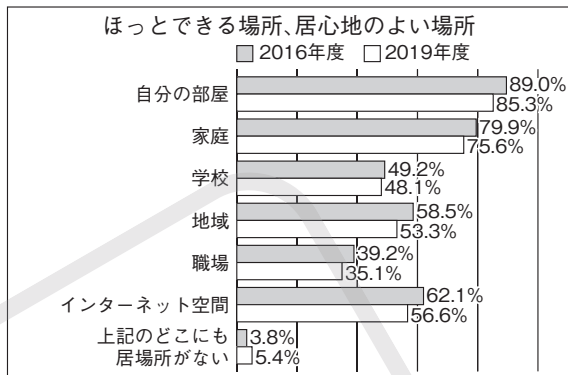
表現

表現

1

次の〈資料〉と〈話し合い〉を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈資料〉



内閣府 「令和3年度版 子供・若者白書」より

(1) 〈資料〉から読み取れることとして適切なものを、次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 選択肢にあるどの場所でも、居心地がよいと感じる若者の割合は二〇一六年度よりも二〇一九年度の方が減っている。

イ 十三歳から二十九歳の若者は三十代の人と比べると、職場を居心地がよいと感じている人の割合が少ない。

ウ 家庭に何でも相談できる人がいると感じている若者のほとんどは、学校にも何でも相談できる人がいる。

エ 地域に居心地のよさを感じる若者は半数以上いるが、それに比べて地域で相談がしやすいと考える人は多くない。

オ 若者にとってのインターネット空間は、何でも相談できる人があると感じられるただ一つの場所である。

(2) 〈話し合い〉の中の A・B にあてはまる言葉として最も適切なものをそれぞれ次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 透明性 イ 相対性 ウ 匿名性 エ 相互性
オ 無罪 カ 断定 キ 悲報 ク 邪険

〈各6点〉

(3) 〈話し合い〉の様子からわかることとして適切なものを、次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 小林さんは木下さんに賛同しつつ自分の考えを伝えた。
イ 小林さんは自分自身の経験したことも話している。

ウ 上島さんは推測をまじえずに事実のみを述べている。
エ 上島さんは地域を居心地のよい場所だとは感じていない。

オ 木下さんは小林さんの考えの根拠の不十分さを指摘した。

(4) 〈話し合い〉のあと、小林さんは〈資料〉から感じたことを発表しました。これを読んであとの問いに答えなさい。

みなさんの居心地のよい場所はどこですか。今回見た調査では、でも何でも相談できる人がいると答えた人の割合は五割を超えていましたが、居心地がよいと答えた人は五割を切っていました。長い時間を過ごす場所ですから、どうすれば誰もが居心地よいと感じられるようになるのか、一度考えてみたいと思います。

① この文章の にあてはまる言葉を〈資料〉から書き抜いて答えなさい。

〈7点〉

② この文章の表現の工夫として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

〈7点〉

ア たとえを効果的に用い、内容をわかりやすくしている。

イ 相手に問いかけることで、関心を引こうとしている。

エ 自分の感想を述べず、事実のみを伝えている。

オ 四字熟語を使用し、言葉の印象を強めている。

オ 似たような表現をくり返し、リズムを持たせている。

〈話し合い〉

小林 これは、十三歳から二十九歳までの若者を対象にした調査なのだけれど、居心地のよい場所というと、やはり自分の部屋や家庭と答える人が多いんだね。

上島 半数以上の人がインターネット空間にも居心地のよさを感じているようだ。たしかに、インターネット上の情報を眺めたり、交流サイトでのやりとりが落ち着くときってあるよね。

小林 うん、つい交流サイトを見過ぎてしまうことってあるよね。でも、インターネット空間に居心地のよさを感じている人は、二〇一六年度から二〇一九年度の間に、五、六ポイントの減少がみられるよ。これは、だんだんインターネットの中の居心地が悪くなってきたことを示しているよね。

木下 インターネット上のやりとりは A が高くて、相手がいかなにかかわらないからあまり居心地がよくないのかな。上島 それでも、まだ半数以上の人たちが居心地のよさを感じているみたいだよ。しかも、その割合は、学校に居心地のよさを感じている人たちよりも多くなっているよ。

小林 学校を何でも相談できる人がいる場所として選んだ人は少なくないのに、居心地のよさでは上位ではないんだね。

木下 一方、インターネット空間に何でも相談できる人がいると答えている人の割合は、少し増えているね。そして、何でも相談できる人がどこにもいない人は、少し減っているよ。ということは、インターネットはどこにも相談できない人を救っているかもしれないね。

上島 少ないけれど、インターネット空間で何でも相談できる人がいると答えている人の割合は、少し増えているね。そして、何でも相談できる人がどこにもいない人は、少し減っているよ。ということは、インターネットはどこにも相談できない人を救っているかもしれないね。

小林 たしかにインターネットにはそういうよさもあるのかもしれないね。でも、居心地のよさを感じている人は減っているの、インターネットでは何でも相談できるけれど、やっぱり居心地はよくないんだね。

木下 そう B はできないと思うよ。それは数値の増減だけを理由とした考えであって、数値そのものを見れば、インターネット空間を居心地よく感じている人は多数派に違いないわけで、インターネットの居心地がよくないとは結論づけれないよ。

国語

7

表現

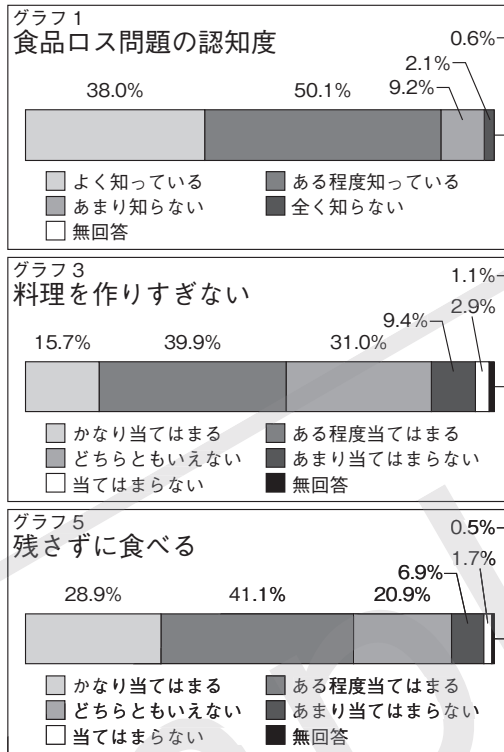
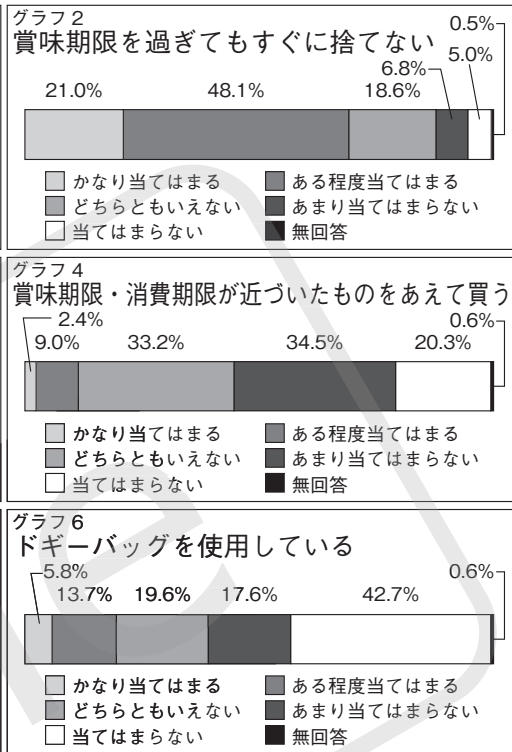
標準時間／表・裏各20分

2

表現

〔資料〕

次の〔資料〕と「新聞委員会の話し合い」を読んで、あとの問いに答えなさい。



消費者庁「令和元年度 消費者基本調査」より

「新聞委員会の話し合い」

井上 次回発行する新聞のコラムは「食品ロス問題」と決まりました。資料を見て、二人の考えを聞かせてください。

田宮 この資料を見ると、食品ロスの問題については多くの人が知っているようです。賞味期限が切れてもすぐには捨てないようにしている人たちが過半数です。その人たちは、食品ロスを減らすようしているのかもしれないですね。

田宮 ただし、賞味期限が近いものを買うことで小売店での廃棄を減らすとまではまだ少ないようです。

今村 すぐ使用する食品については、賞味期限がAにあるものを減らすことにつながりますね。

田宮 食べるときに、残さずに食べることを意識する人は多いようですが、外食などでどうしても残してしまった時に、食べ物を家に持ち帰る「ドギーバッグ」のシステムを使っているという人はまだまだ少ないですね。このこともコラムになりそうですか、どうでしょうか。

今村 ドギーバッグについては、導入しているお店をあまり見かけませんが、注目を調整すれば使う必要のないものなので、今回はBもよいのではないかと思います。

井上 なるほど。たしかにそうかもしれません。では、今回の新聞では、「すぐに使う食材は、賞味期限が近いものを選んでみてはどうか」というコラムにしていきたいと思います。

(1) 〔資料〕から読み取れることとして適切なものを、次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 食品ロスを減らすためには残さずに食べることが大切だ。
イ 料理を作りすぎないようにしている人は、半数以上いる。
ウ 食品ロスの問題の認知度はここ数年でかなり高まった。
エ 期限が近いものを買う人は残さず食べる人より割合が少ない。
オ ドギーバッグのシステムを取り入れている店舗が少ない。

(2) 「話し合い」の中のA・Bにあてはまる言葉として最も適切なものをそれぞれ次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 減って イ 迫って ウ 切れて エ 届いて
オ 見送って カ 掲載して キ 近くて ク 尋ねて

(3) 「話し合い」の中でふれられなかった〔資料〕があります。グラフの番号で答えなさい。

グラフ

(4) 「話し合い」のあと、新聞委員会では新聞のコラムを作成しました。これを読んであとの問いに答えなさい。

食品ロスの問題について、私たちにできることはどんなことだろうか。賞味期限は消費期限とは違い、たとえ期限が過ぎたとしてもすぐに食べられなくなってしまうものではない。実際、賞味期限が過ぎてしまっても、すぐには捨てないようにしている人たちが多いようだ。ただし、買い物の際に賞味期限が近いものから買うという人たちはあまり多くないようだ。近いうちに使う予定の食材であれば、賞味期限が近くても問題はないはずである。そういった行動が、食品ロスを減らすことにつながるのではないだろうか。

(1) このコラムの小見出しとして最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 賞味期限と消費期限の違いについて
イ 食品ロスはどのようにして起きるのか
ウ すぐ使うなら、期限が近いものから選ぶ
エ 今すぐ使おう、賞味期限切れの食材
オ 賞味期限が過ぎてしまっても捨てないで

(2) このコラムと合わせて掲載する〔資料〕の組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア グラフ1とグラフ2
イ グラフ2とグラフ3
ウ グラフ2とグラフ4
エ グラフ4とグラフ5
オ グラフ4とグラフ6